

7 さいたま輝き荻野吟子賞



埼玉県では、本県出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子（おぎのぎんこ）」にちなみ、その不屈の精神を今に伝える先駆的な活動をしているなど、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所の方々に「さいたま輝き荻野吟子賞」を贈っています。

この表彰制度は、女性と男性が個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画することができる男女共同参画社会づくりを推進するとともに、埼玉の偉人である荻野吟子を顕彰するため、平成17年度から実施しています。

■対象者

きらきら輝き部門	県内に在住（勤）若しくは県出身又は県内に所在し、先駆的な取組などにより各分野で特に功績が著しく今後の活躍が期待できる個人又は団体
さわやかチャレンジ部門	県内に在住（勤）又は県出身で、各分野にチャレンジし、今後さらなる活躍が期待できる年齢40歳未満の個人
いきいき職場部門	県内に所在し、男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所

第11回（平成27年度）受賞者

きらきら輝き部門

※敬称略

尾池 富美子（NPO法人メイあさかセンター代表理事）

マレーシアと日本の学校教育との連携で小・中学生の絵画による交流を端緒に国際協力、介護体験から、障がい者や高齢者への支援など幅広く活動を行っている。NPO活動の先駆者として他のNPOの指導・育成を行っている。埼玉新聞社埼玉文化賞（社会文化部門）、外務大臣表彰など数々の表彰を受けている。（朝霞市在住）

合同会社ままのえん（さいたま市）

子育て中の女性にも取り組みやすい仕事を当事者目線で細分化し提供している。講座・イベントの開催、一時託児事業や広報PRツール制作などの業務を細分化し、300人以上いる部員（＝子育てママ会員）にそれぞれが希望する形での仕事の依頼、業務委託等を行う新たなビジネスモデルを立ち上げた。これにより、子育て中の女性たちがいきいきと働ける場や機会を創出している。

さわやかチャレンジ部門

※敬称略

来栖 智香子（後藤足袋有限会社の足袋職人）

伝統ある行田足袋のすべての縫製工程の技術を習得し、平成26年度埼玉県伝統工芸士に認定された。生地を斬新にコーディネートし、国内外にアピールできる足袋作りに挑戦している。足袋職人として、また、伝統工芸の継承を担うリーダーとして大いに期待されている。（行田市在住）

鈴木 美緒（株式会社grain grain代表取締役）

デイサービス事業と保育園を一体的に施設運営している。介護職員が隣の部屋にある保育園を利用することで、子育てしながら働くことのできる職場環境も実現している。日々子どもと高齢者との交流が好評で、より良い介護・保育支援に向けて相乗効果をもたらしている。（春日部市在住）

いきいき職場部門

※五十音順

株式会社ピクルスコーポレーション（所沢市）

食品加工業。「野菜の元気をお届けします。」をキーワードに、あさづけ・キムチ・惣菜を提供している。成果を見える化することで、年齢・性別・職種にとらわれず評価をする取組を進めている。この結果、女性が能力を発揮できる職場を実現し、ヒット商品を生み出している。

増木工業株式会社（新座市）

総合建設業。特殊建築物や戸建住宅の新築工事・改築工事（リフォーム工事）、不動産の売買や賃貸管理を行っている。男性優位の建築業界において、前例にとらわれず、親子出勤制度や女性目線での現場施設等の改善に取り組んでいる。その結果、女性の能力を生かし大きく業績を伸ばしている。